



連載

みんなで盛り上げよう！ オリンピック・パラリンピックムーブメント

パラリンピック・ムーブメント事例紹介



NPO法人夢くらぶ国分寺 ＜栃木県下野市＞



オリンピック・パラリンピック・ムーブメントとは、オリンピックの精神(オリンピズム)に従って、スポーツを通じて平和でよりよい世界の実現を目指す活動のことです。2020年に向けて国内でもさまざまな活動が行われています。

今回は、NPO法人夢くらぶ国分寺が実施しているパラリンピック・ムーブメント関連の取り組みを紹介します。

やさしいスポーツ教室

実施日時 2019年3月2日(土曜日)

実施会場 下野市B&G国分寺海洋センター体育館

参加者数 国分寺キッズクラブ(小学生健全者)40名、はくつる会(就労支援施設)30名、指導スタッフ13名、合計83名

主催 NPO法人夢くらぶ国分寺

事業委託 下野市教育委員会スポーツ振興課

協力 市内の総合型地域スポーツクラブ、社会福祉法人はくつる会



1 企画経緯

下野市教育委員会から事業委託を受け4年目

特定非営利活動法人の認証取得後、役員会では事業内容の充実&見直しなどの議論の中で、障がい者スポーツに関する研修会などを通じて得た情報を基に、今後取り組む重要事業として障がい者スポーツ事業化の課題や要件整備などについて具体的検討を進めました。2016年度から「障がいのある方も楽しめる、やさしいスポーツ教室」立ち上げ4年目を迎えています。2017年度からは下野市教育委員会から事業委託を受けて実施継続中です。

実施にあたっては、以下7項目を踏まえ、指導員育成、現場体験、装備品調達、障がいのある方が所属する団体との連携、体験イベント実施など準備を進め、企画の充実を図ってきました。



- ① 障がい者スポーツ指導員の育成
- ② 地域の社会福祉協議会、障がい者母の会との意見交換
- ③ 障がい者に適する(望む)スポーツのあり方
- ④ 他の総合型クラブが実施している障害者スポーツ教室に体験スタッフを派遣
- ⑤ 県主催の障がい者スポーツ教室への指導員派遣、現場体験による要件調査
- ⑥ 会場までの交通手段、事業の開催時刻などの条件調査
- ⑦ 白鷗大学と近隣10クラブ協働による障がい者スポーツイベントの体験開催

2 企画内容

障がい者と健常キッズとのコラボ教室「卓球バレー」など5種目

事業コンセプトは、

- ①「障がいの有無に関わらず誰もが手軽にスポーツを楽しめる環境をつくる」、
- ②「障がい者スポーツ事業の継続に必要なサポート人材を育成する」です。

今回は社会福祉法人はくつる会の障がいのある方々と、健常者の国分寺キッズクラブの子もたちとのコラボ形式の「やさしいスポーツ教室」としました。はくつる会との連携にあたっては、会の理事長が当クラブの役員だったことから、双方の目的が合致し、双方が同じ地域でもあり互いの連携が容易に進みました。

教室での実施スポーツ種目は、①ストラックアウト、②卓球バレー、③ターゲットゲーム、④ポッチャ、⑤トランポリンの5種目とし、障がいのある方と健常者を混合して6つのグループに分けて、所属を分かりやすくするためにカラーはちまきと名札を付けました。

各グループが5種目のスポーツを15分間隔で回る体験型スポーツラリーとし、順番に体験休みとなったグループには休憩時間をあてがいました。実施にあたっては、参加者のモチベーションアップを狙って会場にはBGMを流し賑やかにしたり、各スポーツ種目に指導スタッフ2名を配置して、安全の確保、障がいの重さなどに応じた特別ルール of 適用など運営の円滑化を図りました。



卓球バレー



トランポリン

なお、指導スタッフの重要な役割として参加者と一緒になって声を出して自ら楽しむこと、また、個人差のあることを十分に認識して臨機応変な運用を申し合わせました。

そのほか、終了後の講評時にお楽しみ抽選会を行い、当選者に景品を差し上げ、最後の盛り上げを図りました。

※適用した特別ルール

- ① 現場スタッフが、障がいの重さを推定し、的までの投てき距離の変更を許容
- ② 慣れるまで練習回数を増やすことを許容
- ③ 不慣れによるミスにはリプレーを許容
- ④ 必要であれば介助者がつくことを許容
- ⑤ 安全確保のためトランポリンは指導スタッフと一緒に体験することを許容

※種目選定・会場設営にあたり工夫した点

- ① 種目の選定にあたり、事前にはくつる会に出向き、障がい者の日常の活動状況を観察しました。また、参加対象となる方々が楽しめるように、種目の難易度をはくつる会の職員に説明し、双方で話し合って実施種目を決めました。
- ② 参加者が迷わないように、種目・号機・ローテーション順などを会場内に大きく表示しました。
- ③ 参加者全員に見えるよう大型デジタルタイマーを設置し、一斉ローテーションを行いました。

※その他工夫した点

- ① 事前にはくつる会で班分けをしてもらい、各班をカラーはちまきで判別できるようにしました。
- ② 固有の名前で呼べるように全員に名札をつけてもらいました。
- ③ 休憩所を設定して、途中で休憩タイムを取れるようにしました。
- ④ ウォータージャグを設置して、いつでも水分補給ができるようにしました。

※施設側スタッフのサポート内容

- ① 施設側スタッフの人数は、参加者人数、障がいの重さなどを考慮して人選して同行したようです。
- ② 来場、退場、休憩などの作業は施設側スタッフが対応してくれました。
- ③ 受付作業には夢くらぶ国分寺と施設側のスタッフの協働作業でした。
- ④ 参加いただいた障がいを持つ方々は、その重さや特性、個人の性格など、夢くらぶ国分寺には判別できない違いがあるそうです。そのような方々の一人ひとりを理解している施設側スタッフが会場の中で無軌道な行動をしないように、また、介助のサポートなど水すましのよう動いてくれました。
- ⑤ 種目体験の場で指導スタッフが迷う場合は施設側スタッフがタイミング良くサポートしてくれました。
- ⑥ 施設側スタッフも余裕があるときは参加者に交じって一緒に楽しんで一体感を醸成していました。

3

参加者・運営側の声

参加者の声(実施後)

- 広い体育館で思い切り動き回れるのでスポーツの楽しさが倍加しました。
- いろいろな新しいスポーツ種目を体験できて、次回の教室参加が楽しみです。
- 運動が苦手で普段あまり動かない人が想定外の取り組みをする姿を間近に見て、支援者も家族も驚嘆するシーンが見られました。
- 指導スタッフが安全重視でサポートしてくれるので安心できました。
- 今回から採用したトランポリン体験は非常に楽しく、再挑戦したいです。

運営者の声(実施後)

- 障がいを持つ方々と健常者の子どもたちが同じグループで一緒に活動することにより、双方にとって新鮮な空間が生まれて、同じグループメンバー同士がごく自然に触れ合いサポートし合う場面が見えました。また、健常者の子どもたちにとっては将来認識すべき大切な社会体験の場になっているように思います。
- 15分間隔でローテーションすることにより参加者の集中力が散漫にならず、どの種目でも一生懸命に取り組んでいたことに感動しました。
- 参加者の障がいの重さには個人差があり、一人ひとりに適したサポートの必要性を感じました。
- 障がいを持つ方々が所属する施設側スタッフのサポートが行き届いていて心強いです。
- 障がいが高くスポーツ体験参加を躊躇(ちゅうちょ)している方々がまだまだ存在することを考えると、やさしいスポーツ教室の内容および対応するスタッフの拡充・レベルアップの必要性を強く認識しました。



ターゲットゲーム

4

今後の展望 (今年度事業の概要等)

2019年度は16事業延べ480回、会員数461名延べ参加者人数9,350名を事業目標として、ほぼ計画通りに推進中であり、年度末に集中するビッグイベント事業、各種大会出場、教室内交流大会実施、事業別満足度アンケート調査、皆勤賞候補人選などの計画を推進予定です。

今後は、施設更新で中断しているボルダリング事業の再開計画、新規事業の立ち上げ計画、地域内の3つの小中学校との情報交換、クラブへの要望などのヒアリング等を実施していく予定です。

(NPO法人夢くらぶ国分寺 クラブマネジャー 下山 欽也)

クラブ プロフィール

- 設立年月日** 平成21年7月26日（法人化：平成24年10月）
- 所在地** 栃木県下野市国分寺地区
- 特 徴** クラブ会員は307名。うち77%が中学生以下の子ども主体、種目重複参加率1.25。一方、シニア健康ウォーキングサークル会員（平均年齢70歳）が154名で、中間世代層が少ない。
- 収入源は会員の年会費と事業参加費で87%を占める自己財源型会計。
- スポーツ安全保険の他にクラブ独自でもお見舞い保険、法人賠償保険加入による補償の充実。
- toto助成金を活用したスポーツ用具の重点的拡充や、スポーツ推進委員の経験を持つクラブ公認の指導員、海洋インストラクターなどを資源として多様なスポーツ事業に対応できる。
- 一般的スポーツ種目事業の他に、色々体験子ども塾、ボルダリング、カヌーリバーツーリング、キンボールスポーツ、障がい者スポーツ、ヒップホップダンス、小学校出前教室、中学校部活支援などの事業を運営している。
- 栃木県南部の下都賀地区で活動している10個の総合型クラブや白鷗大学とクラブネットワークが確立されており、スポーツ施設、用具類、指導者などの相互支援が行われている。
- 事業推進にあたり、下野市スポーツ振興課と非常に良好な連携がとれている。
- 連絡先** NPO法人夢くらぶ国分寺
〒329-0414 栃木県下野市小金井277-2
TEL 0285-44-0849 FAX 0285-44-5131
E-Mail 35@k-yumeclub.com
URL <http://www.k-yumeclub.com/>



スタッフミーティング



開会式会長挨拶
NPO法人夢くらぶ国分寺理事長 増淵進



指導スタッフ紹介



ポッチャ



お楽しみ抽選会の景品授与



講評と閉会式